

平成29年度がん診療連携拠点病院等「PDCAサイクル評価シート」

部門		評価項目	Plan(計画) 2017.7	
作業部会	がん登録部会	1. がん登録の精度向上を図る	1-1. 実務者のスキルアップを図るため積極的に各種研修会等に参加する。(①秋田県院内がん登録実務者研修会 ②東北がんネット主催研修会 ③国立がんセンター主催研修会 1-2. 各施設に院内がん登録中級者認定試験合格者を一人以上配置する。	
	緩和ケア・教育研修部会	2. がん登録の認知度を高める 3. がん登録データの自己解析能を高める	2. 市民にがん登録の存在と重要性を理解してもらうよう協議会HPを通じて啓発活動を行う。 3. 院内がん登録データによる病期別5年相対生存率を各施設で自己算出する。	
	がん地域連携クリティカルバス部会	1. TV会議システムによる地域緩和ケア連携 2. 緩和ケアチーム現況調査 3. 地域緩和ケアコンサルテーションシステム構築	1. TV会議システムを用いた、事例検討中心にカンファレンスを年4回開催する。 2. 施設毎の活動状況を明らかにして、各施設間の活動参考にする。 3. 地域毎に、2次医療圏内での施設間コンサルテーションシステム構築を検討する。	
	がん患者相談部会	1. 5大がんの地域連携クリティカルバスシートの更新を行う 2. 地域連携クリティカルバスの運用件数を知る	1. 5大がんのがん地域連携クリティカルバスシートについて、より使いやすく、現在のエビデンスに基づいた内容に更新する。 2. 拠点病院のがん地域連携クリティカルバスの運用件数を把握する。	
	化学療法・放射線療法部会	1. 就労支援の関係機関との連携を強化する 2. がん相談対応能力向上のため、必要な研修を企画・実施し、均てん化を図る 3. 広報活動を行い、がん相談支援センターの周知とネットワーク強化を図る	1-1. 就労支援に関わる関係機関と情報共有しながら支援の検討に取り組む。 1-2. 企業に向けて治療と仕事の両立について周知を図るため、シンポジウムを企画・開催する。 2. 平成29年度地域相談支援フォーラム秋田における研修を計画・立案・実施する。(11/18開催) 3-1. 広報活動を展開し、がん相談支援センターの周知と相談員のネットワーク強化を図る。(竿燈市民パレード、2017ねんりんピック秋田、平成29年度地域相談支援フォーラム等) 3-2. アピアランス支援の質向上に向けた活動を行う。(リーフレットの作成・配布、支援状況の情報交換・調査)	
作業部会	1. 抗がん剤治療の院内実施件数を知る 2. 抗がん剤治療の他院からの紹介率を知る 3. 放射線治療の院内実施件数を知る 4. 放射線治療の他院からの紹介率を知る	1. 拠点病院などの院内で行なわれている抗がん剤治療の実態を把握する。 2. 施設外からの紹介患者の抗がん剤治療の実態を把握する。 3. 拠点病院などの院内で行なわれている放射線治療の実態を把握する。 4. 施設外からの紹介患者の放射線治療の実態を把握する。		
拠点部病院等	大館市立総合病院	1. がん検診受診率向上のため、医師会と連携した取り組みを行う 2. 喫煙対策(喫煙率低下のとりくみ)をすすめる 3. 在宅緩和ケア・がん相談啓蒙活動をすすめる。	1. がん検診率向上のため、医師会と連携した取り組みを行う。 ①市民向けがん講座における啓発活動 ②市内イベント(きりたんぼまつり)での健康相談とPR活動 ③市健康課と連携した取り組み(健康ポイント)をすすめる 2. 喫煙対策(喫煙率低下のとりくみ)をすすめる。 ①喫煙防止PRの実施(病院だより等) ②院内喫煙防止ポスターコンクールの実施(職員対象) 3. 在宅緩和ケア・がん相談啓蒙活動をすすめる。 ①在宅医療介護連携推進協議会(市)と連携し、市民向け「もっともっと知ろう緩和ケア・がん相談」を実施する ②院内で毎年取り組んでいる「もっともっと知ろう緩和ケア」を今年も実施する	
	秋田厚生医療センター	がん登録	1. がん登録の精度向上を図る 2. がん登録データの自己解析能力を高める	1. 実務者のスキルアップを図るため積極的に各種研修会等に参加する。 2. 院内がん登録データによる病期別5年相対生存率を自己算出する。
		緩和ケア	1. TV会議システムによる地域緩和ケア連携 2. 緩和ケアチーム現況調査 3. 地域緩和ケアコンサルテーションシステム構築	1. TV会議システムによるカンファレンスへ参加する。 2. 当院緩和ケアチームの現況を調査する。 3. 地域緩和ケアコンサルテーションシステム構築の検討に参加する。
		地域連携	1. 5大がんの地域連携クリティカルバスシートを関係部署内で周知し活用する 2. 当センターのがん地域連携クリティカルバスの運用件数を把握する	1. 5大がんのがん地域連携クリティカルバスシートについて関係部署内で周知し活用する。 2. 当センターのがん地域連携クリティカルバスの運用件数を把握する。
		がん相談	1. 就労支援の関係機関との連携を強化する 2. がん相談対応能力向上のため必要な研修を企画・実施し、均てん化を図る 3. 広報活動を行い、がん相談支援センターの周知とネットワーク強化を図る	1. 就労支援に関わる関係機関と情報共有しながら支援の検討に取り組む。出張相談の拡大。就労支援に関する研修会に参加する。 2. 平成29年度地域相談支援フォーラム秋田における研修を計画・立案・実施する。 3-1. 平成29年度地域相談支援フォーラム秋田の広報活動を行う。 3-2. アピアランス支援の活動を行う。
化学療法・放射線療法	1. 平成29年度の放射線治療件数200件以上 2. 平成29年度の根治的放射線治療の完遂割合95%以上 3. 平成29年度の緩和的放射線治療の完遂割合95%以上 4. 抗がん剤治療の院内実施件数を知る 5. 抗がん剤治療の他院からの紹介率を知る 6. 外来化学療法看護の質の向上 7. 就労・学業支援体制	1. 病院規模や医療圏から検討すると放射線治療を受ける患者が少ないのでその原因を把握し、放射線治療の適応患者が放射線治療を受けてその利益を享受できるように対策を講じる。 2. 医師、看護師、治療技師間での連携を強化し、放射線治療中の患者管理の質を向上させることで放射線成績向上、副作用の軽減を達成する。 3. 骨転移に対する1回照射を導入し、全身状態が悪い患者でも放射線治療が安全・確実に受けられ、その利益を享受できるようにする。 4. 院内で行われている抗がん剤治療の実態を把握する。 5. 施設外からの紹介患者の抗がん剤治療の実態を把握する 6. がん看護外来開設。外来で抗がん剤治療開始患者・家族への電話相談。抗がん剤治療の皮膚障害対策の構築体制作り。 7. 医師・薬剤師・看護師が協力し、可能な範囲での治療開始時間の調整。		
秋田赤十字病院	がん登録	1. 院内がん登録の精度向上を図る 2. 院内がん登録データの分析を行う	1-1. 実務者は積極的に各種研修会等に参加する。①秋田県院内がん登録実務者研修会 ②国立がん研究センター主催研修会 1-2. 登録データの品質管理を行う 2. 登録データによる5年生存率を算出する。	
	がん相談	1. リンパ浮腫ケアの充実 2. 就労支援の院内周知と実施 3. がん相談員の養成(基礎研修受講)	1. セラピストの人員不足。現在は、外部委託に頼っているが、他医療機関では自施設職員をセラピストとして養成し活用している。養成費用の課題もあるが、病院側に継続的な要望を行い、当院の患者さんがリンパ浮腫ケア難民とならないよう働きかける。 2. 4月1日よりハローワークとの業務提携を締結した。院内各部署へ定期的な周知活動を行い、就労支援相談を実施する。 3. がん相談員が人員不足とならないよう、基礎研修(3)までの養成を計画的に行えるよう、病院側へ働きかける。	
	がん化学療法	1. 化学療法他院からの紹介率を知る	1. 施設外からの紹介患者の化学療法の実情を把握する。	
	看護部	1. がん化学療法看護の専門的な知識と技術を理解し実践できる 2. 緩和ケアの専門的知識を学び、がん患者と家族のQOL向上を目指した看護を実践するための能力を高める 3. 終末期の患者・家族の看護実践能力を高める 4. がん相談支援センターの機能と活動内容を理解し看護に活用することができる	1-1)がん化学療法を受ける患者の看護について研修会(2回/年)を開催する。 1-2)がん化学療法リクナーズは、化学療法のレジメンについて部署で学習会を計画する。 2. がん性疼痛管理について、研修会(1回)を開催する。 3. 終末期の看護について、研修会(1回)を開催する。 4. がん相談支援センターの役割と実際について、研修会(1回)を開催する。	
	薬剤部	1. がん化学療法レジメンの適正化を図る 2. 地域医療機関と連携し、がん診療の均てん化を推進する	1. 院内のがん化学療法レジメンについて、エビデンスに基づき、新規作成や適宜見直しを実施する。 2. 地域連携バスや薬業連携により、かかりつけ医、院外薬局との連携を深め、化学療法、支持療法、副作用対策等について均てん化をすすめ、継続的な患者ケアを行う。	
大曲厚生医療センター	がん登録	1. 自施設のがん登録データをフィードバックし、データの有効活用を図る	1-1. 必要とされる集計方法を知るため、現場職員と連携を図る。 1-2. 国立がん研究センター主催「院内がん登録データ集計・分析研修」に参加する。	
	緩和ケア	1. 緩和ケアの質の向上 2. 一般市民への緩和ケアの周知	1. テレビ会議システムに参加し、他施設との情報共有を図る。 2. 一般市民対象の講演会、勉強会の機会を増やす。	
	地域連携	1. がん地域連携クリティカルバスの運用件数を知る	1. がん地域連携クリティカルバスの運用拡大を図る。5件以上/年間・全がん種の適用	
平鹿総合病院	がん相談	1. がん支援における関係機関との情報共有を行わない連携を強化する 2. 医療資源等の情報収集及び提供を行う	1. がん支援に関わる関係機関と情報共有しながら支援の検討に取り組む。 2. アピアランス支援の質向上に向けた活動を行う。	
	がん化学療法	1. 当院におけるがん診療の現状を把握する 2. 当院におけるがん診療の課題を明確にする 3. 各部門の連携を強化する	1. 第一回 評価・改善部会において、当院のがん診療の取り組みと課題について発表する 2. 院内各部門の連携を強化するため、がん診療に関わるスタッフがアクセスできる「がん患者シート」を作成する	
	がん登録	1. がん登録業務の従事者の充実を図る 2. 抗がん剤治療点滴治療の実施件数を把握する 3. 抗がん剤治療を行っている診療科別、疾患別の実態を把握する 4. 早期からの緩和ケア実施 5. チーム医療の推進	1. がん登録初級者認定試験を受験する。がん登録実務初級認定者研修を受講する。 2. 当院にて化学療法(レジメン使用)を行っている患者の実態を把握する。 3. 各診療科、疾患別に使用されているレジメンを把握する。 4. がん患者入院時全員に苦痛のスクリーニングを実施し、苦痛ありの患者に対応する。 5-1. 多職種連携の緩和ケアチーム回診実施。 5-2. 医師・薬剤師・リハビリ・臨床心理士・看護師 病棟スタッフで多様な意見を出し合い、共通の目標を達成する。 6-1. 院内緩和ケア勉強会、緩和ケア研修会、ELNEC-J、Akita地域緩和ケア勉強会等への参加促し。 6-2. 緩和ケア通信の発行。	
能代厚生医療センター	がん相談	7. がん相談能力向上のため、就労支援研修会等へ積極的に研修会に参加し均てん化を図る 8. 広報活動を行い、がん相談支援センターの周知とネットワーク強化を図る 9. 秋田県がん支援連絡協議会と連携し、活動を行う	7. 就労支援等に関する研修会へ参加し、援助技術の習得に努める。関係機関との連携を強化し、情報共有しながら、支援の検討に取り組む。 8. 広報活動を展開し、がん相談支援センターの周知とネットワーク強化を図る。(竿燈市民パレード、2017ねんりんピック、平成29年度地域相談支援フォーラム等) 9. 秋田県がん支援連絡協議会と連携し、研修会、広報活動を行う。平成29年度地域相談支援フォーラム秋田における研修の、企画、参加を行う。	
	がん登録	1. 院内のがん対策専門部会がそれぞれの機能を発揮する	1-1. 下記の専門部会を置く(担当者:3~4名) ①がん登録部会 ②緩和ケア・教育研修部会 ③がん地域連携クリティカルバス部会 ④がん患者相談部会 ⑤手術療法部会 ⑥化学療法部会 ⑦放射線治療部会 1-2. 専門部会毎にPDCAサイクル評価シートを作成する。 1-3. 専門部会活動の報告会を開催する。	
	禁煙・受動喫煙防止を進める	2. 新患の喫煙歴を聴取し記録する。		
雄勝中央病院	がん登録	1. がん登録の情報収集、スキルアップを図る	1-①がん登録の情報収集のため、積極的に研修会へ参加する。 1-②がん登録のスキルアップ、登録精度の向上のため、院内がん登録中級者を1名配置する。	
	他施設との連携の強化	2. 他施設との連携を図る。		
	がん登録・緩和ケア・がん相談についての認知度の向上	・TV会議システムを使用した緩和ケアカンファレンスへの積極的な参加・実態調査へ参加し、他施設の活動状況を参考にし、自施設の状況を見直す 3. 市民にがん登録、緩和ケア、がん相談について理解してもらうため、院内にがんのブースを設け、情報提供を行う。		
市立秋田総合病院	がん登録	1. がん登録の精度向上を図る	1. がん登録実務者のスキルアップを図る。①秋田県院内がん登録実務者研修会 ②東北がんネット主催研修会 ③国立がんセンター主催研修会	
	がん相談	2. がん登録データの自己解析能を高める	2. 院内がん登録データによる病期別5年相対生存率を算出するための体制作りを行う。	
	就労支援体制の構築	3. ハローワークとの協働による就労支援。(毎月2回相談窓口を開設)		
	アピアランス支援の強化	4. ウイッグに関する相談への対応。①ウイッグ相談会の定例開催 ②助成金開始に伴う相談への対応		
	苦痛のスクリーニングの運用拡大	5. 苦痛のスクリーニングの一部外来での導入。		
	外来化学療法実施件数、加算算定数の把握	6. 外来化学療法実施件数、加算算定数の把握。		
	外来化学療法看護の質向上	7. 外来化学療法看護の質向上 ①がん相談員養成 ②がん相談員養成 ③がん相談員養成		
中通総合病院	がん登録	1. 秋田県緩和ケア教育部に協力し、地域緩和ケア連携を図る 2. 秋田県がん相談部会に協力し、相談能力向上のための研修会を実施する	1. 地域緩和ケアカンファレンスに参加する。緩和ケアチーム現況調査に参加する。 2. 地域支援フォーラムに向け、研修会を企画する。	
	がん相談	1. 地域がん診療病院の指定 2. がん地域連携クリティカルバスの普及 3. がん相談件数・緩和ケア件数の増加	1. がん診療連携拠点病院等が空白である北秋田医療圏において、平成30年4月の地域がん診療病院の指定を目指す。 2. がん地域連携クリティカルバスの普及。①開業医への情報提供 ②患者への情報提供 3. がん相談件数・緩和ケア件数の増加。①活動内容の広報 ②活動内容の充実 ③研修会や会議に参加し知識を深める	